

2014年12月期 本決算説明会



ヤマハ発動機株式会社
2015年2月12日

本日も説明する内容

2014年12月期 本決算

■ **概要説明** 代表取締役社長 柳 弘之

■ **事業別説明** 取締役 篠崎 幸造

● **業績予想について**

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

事業戦略を補強して、計画前倒しを達成する。

◇ 売上高	：	15,212億円	(108%)
◇ 営業利益	：	872億円	(158%)
◇ 営業利益率	：	5.7%	(+1.8pt.)
◇ 経常利益	：	973億円	(162%)
◇ 当期純利益	：	685億円	(155%)
		(\$・€)	(106・140)

結果概要

全事業セグメントで増収・増益となる

- **増収**：商品ラインナップ拡充による販売増加＋高価格商品増加
- **増益**：増収効果＋コスト低減－開発費投入
- **為替影響**：先進国通貨高は新興国通貨安で相殺される

主な 取り組み 事項

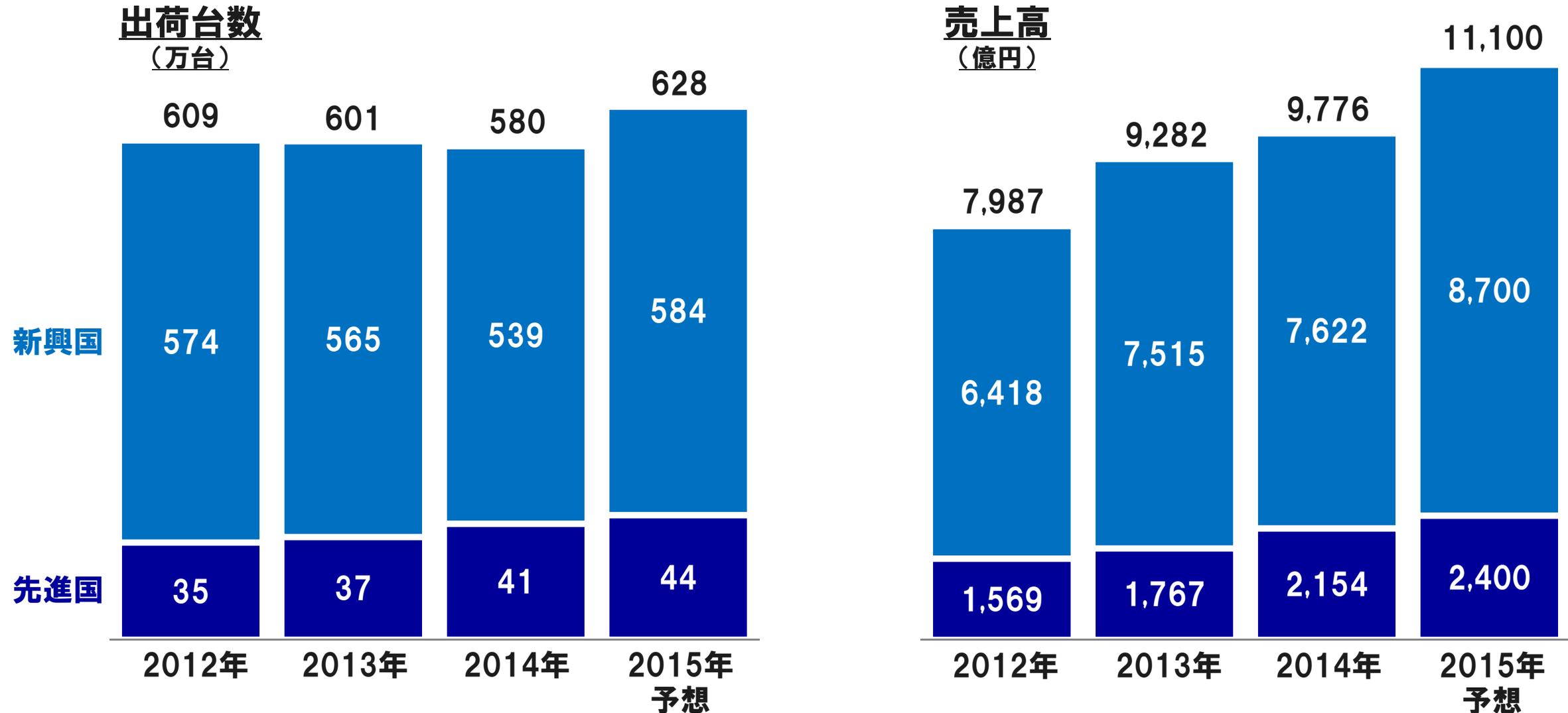
- ① 「個性ある新商品」の市場投入
 - ・中期計画：2014年：63%、2015年：100%見込み
- ② モノ創りを変える
 - ・グローバルモデル、プラットフォームモデルの市場投入
 - ・「商品性＋コストダウン」両立の基盤づくり
- ③ 構造改革を推進する
 - ・国内生産体制：最終段階(6工場・13ユニット)へ
 - ・欧州事業体制：One Company から One Entity へ
- ④ 将来成長戦略を実行する
 - ・新規事業開発、新規市場進出・ファイナンス事業・その他

現行中期計画の成果獲得、 次期中期計画へのステップアップ

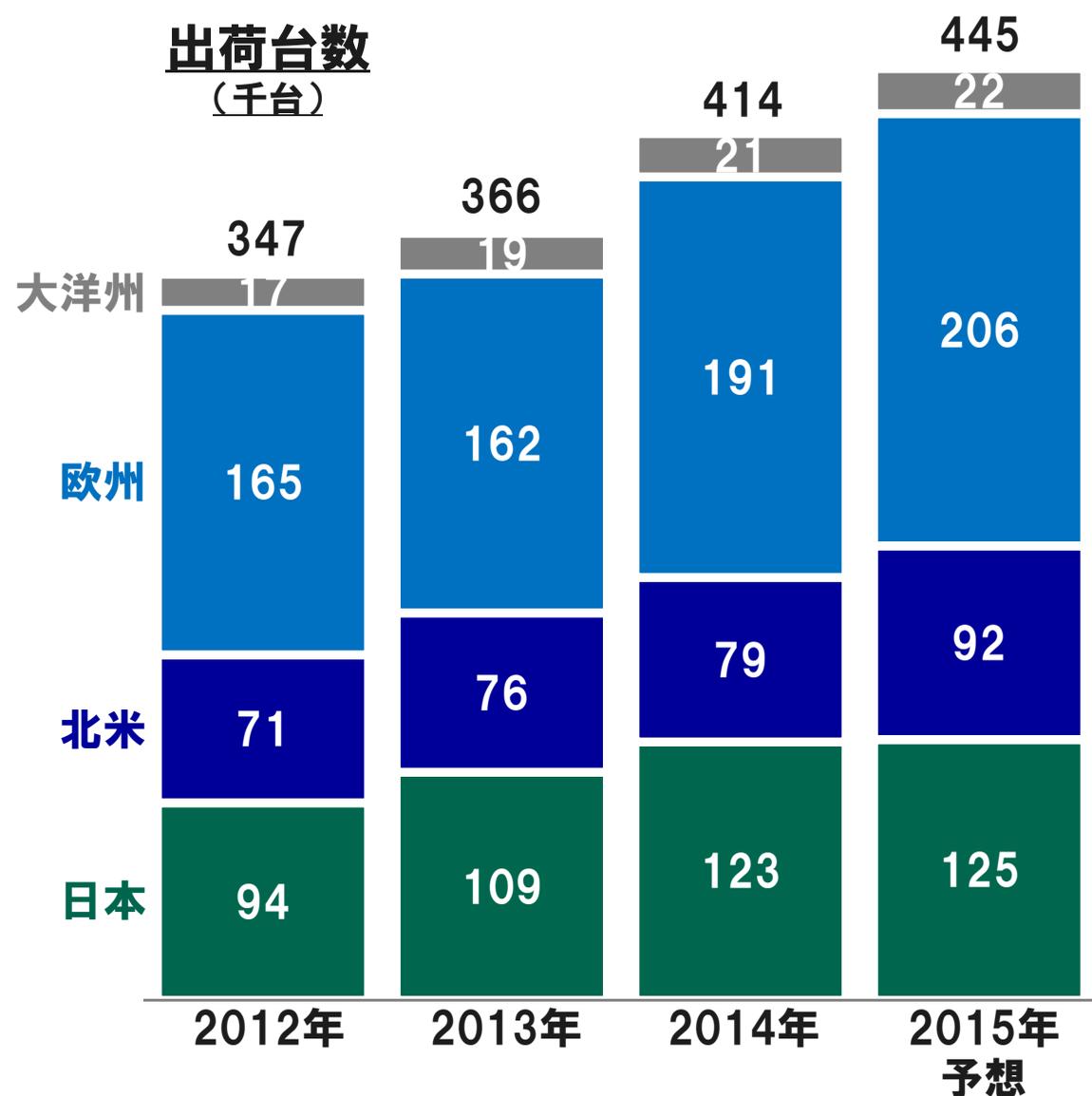
◇ 売上高	： 17,000億円	(112%)
◇ 営業利益	： 1,200億円	(138%)
◇ 営業利益率	： 7.1%	(+1.4pt.)
◇ 経常利益	： 1,230億円	(126%)
◇ 当期純利益	： 760億円	(111%)
	(\$・€)	(115・130)

二輪車事業：全体状況

- 2014年：出荷580万台(前年比96%)、売上高9,800億円(前年比105%)。
- 2015年：出荷628万台(前年比108%)、売上高1.1兆円(前年比114%)予想。
- 商品ラインナップ拡充・高価格商品増加、コスト低減等により営業利益率5%水準へ。



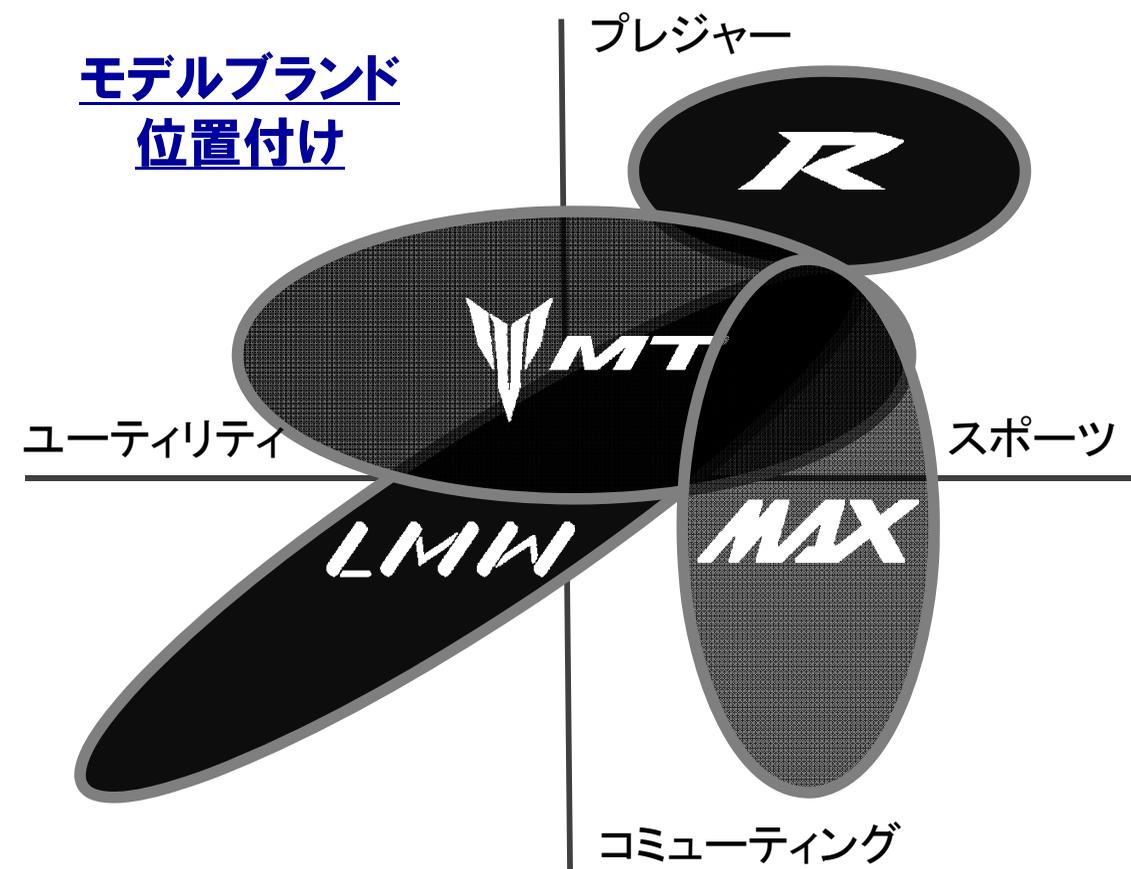
- 2014年：総需要底打ち(105%)・新商品投入により、販売増加(113%)。
- 2015年：新商品投入・構造改革を継続し、事業黒字化へ。



主な取り組み

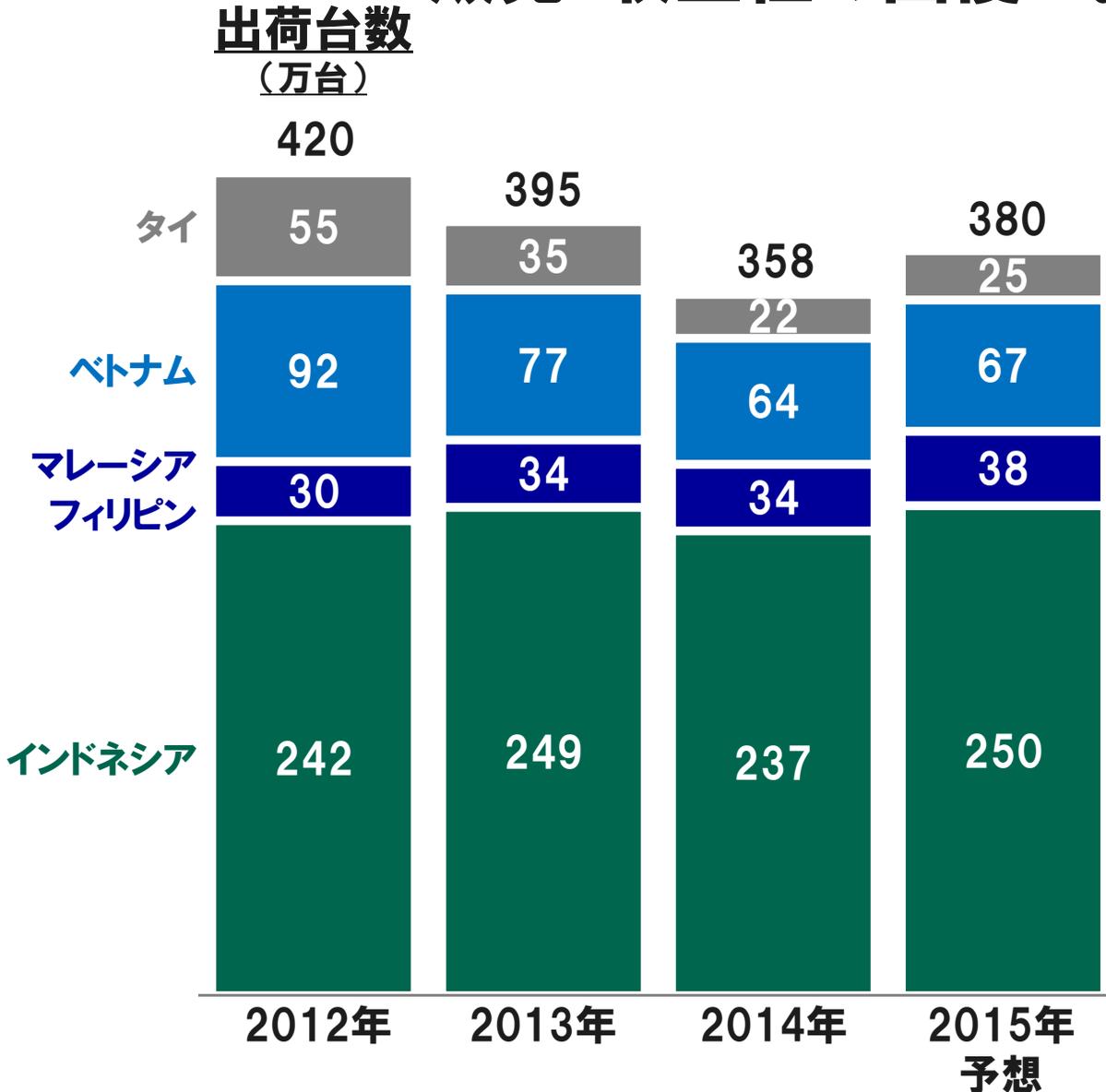
ブランドを輝かせる：

「個性ある新商品」の市場投入



二輪車事業：アセアン市場

- 2014年：総需要減少(97%)、新商品の本格投入前で、販売減少(91%)。
- 2015年：強いスポーツ継続、ATカテゴリ強化/PF本格投入により、販売・収益性の回復へ。



主な取り組み

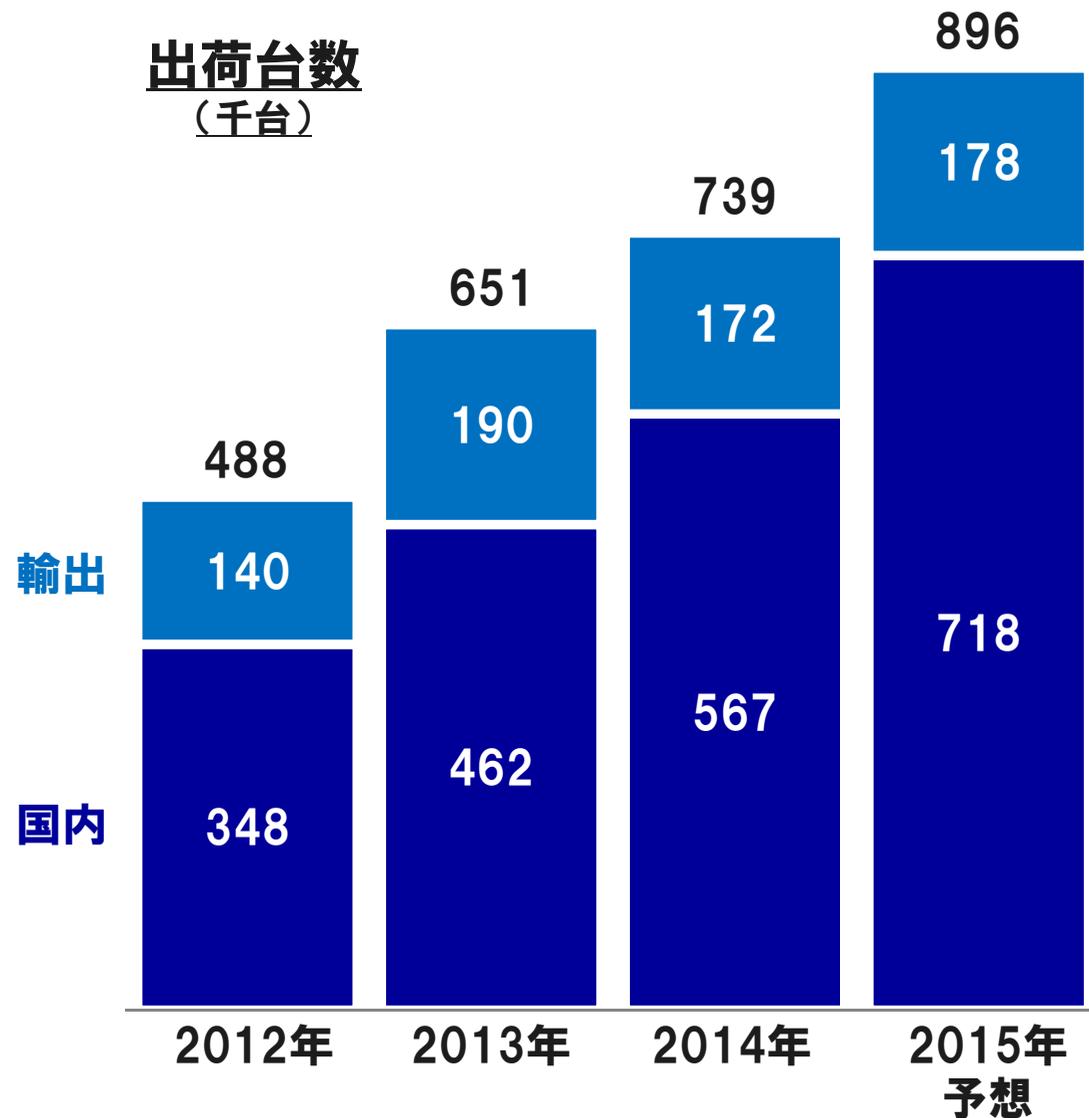
ブランドを強化する：

Blue Core 第1・第2弾の順次展開



『低燃費＋走りの楽しさ』

- 2014年：総需要増加(112%)・新商品投入により、販売増加(123%)。
- 2015年：新しい事業体制により、商品ラインナップ拡充・コスト低減を進める。



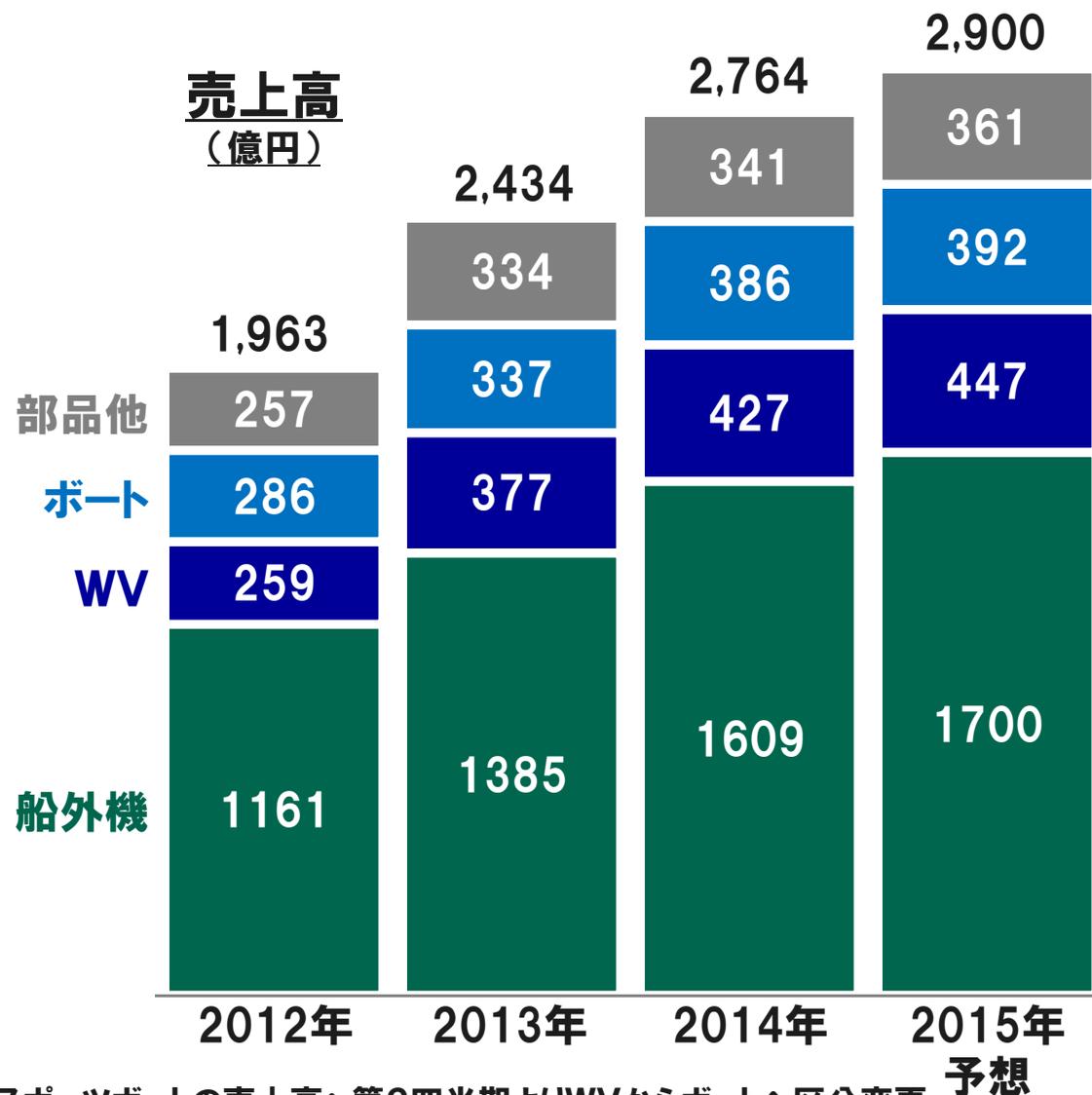
主な取り組み

面・お客様を広げる：
地方市場攻略（商品・プロモーション）

新しい事業体制@チェンナイ



- 2014年：高いブランド力(総合事業力・信頼性・ネットワーク力)により、高収益ビジネスモデルに。
- 2015年：売上高3,000億円・営業利益率20%水準へ。



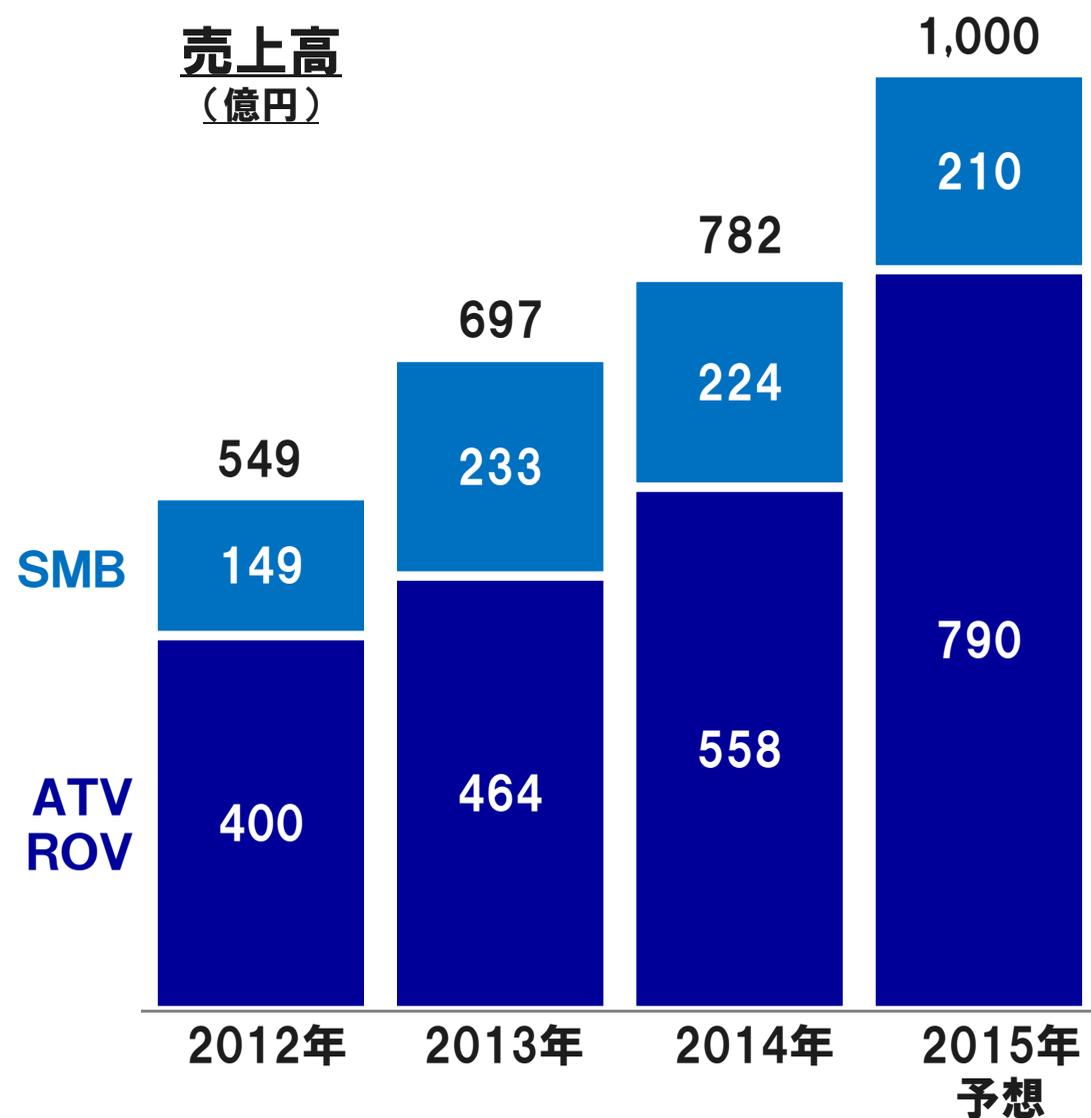
主な取り組み 面・お客様を広げる： エンジン・周辺機器＋艇体戦略の推進

艇体戦略(米国)



※ スポーツボートの売上高：第2四半期よりWVからボートへ区分変更

- 2014年：ROV・SMBの商品ラインナップ拡充進む。
- 2015年：売上高1,000億円、再び成長・収益貢献事業へ。

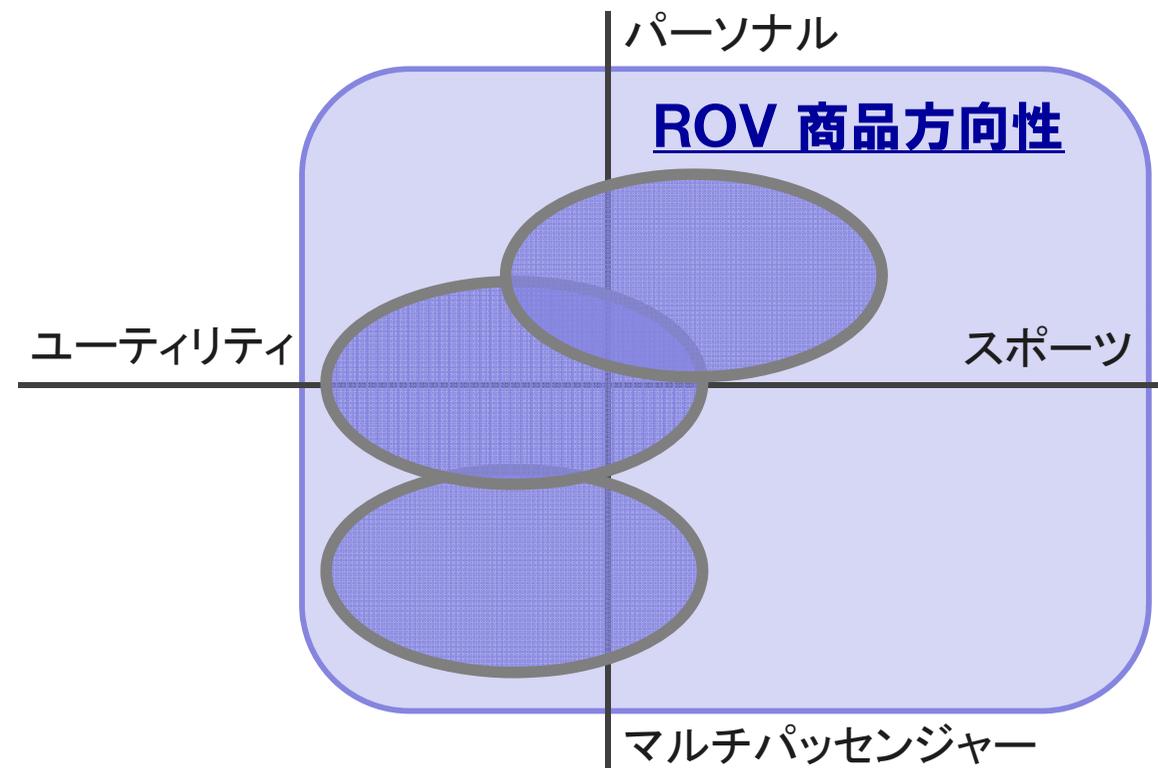


主な取り組み

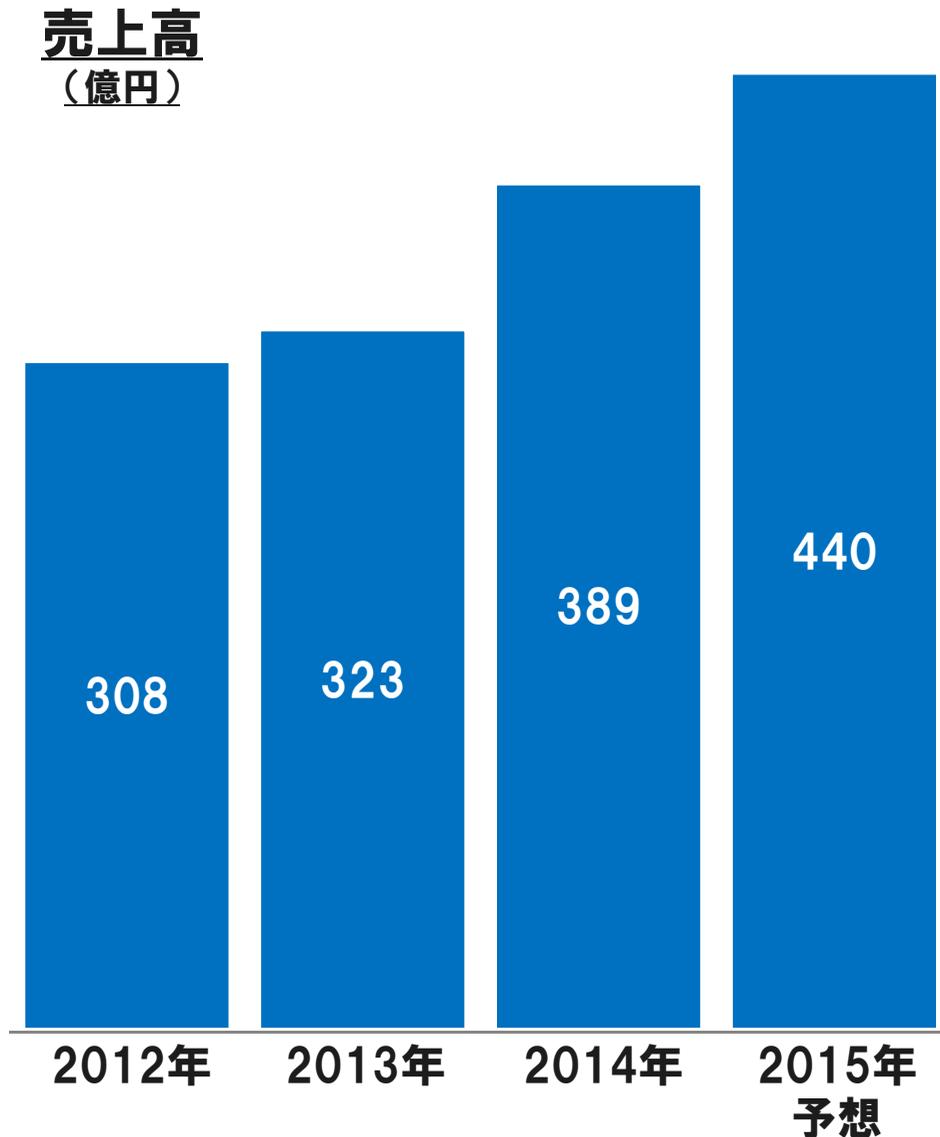
市場プレゼンスを高める：

(ROV) 待望のスポーツ領域へ

(SMB) ロシア市場維持、北米市場攻略



- 2014年：設備投資需要の回復、他社事業の取り込み。
- 2015年：本格的な高速機市場攻略、新しい市場領域開拓。



主な取り組み
お客様を広げる：
新しい開発・生産・販売体制開始



Z:ta
世界最速クラスを実現



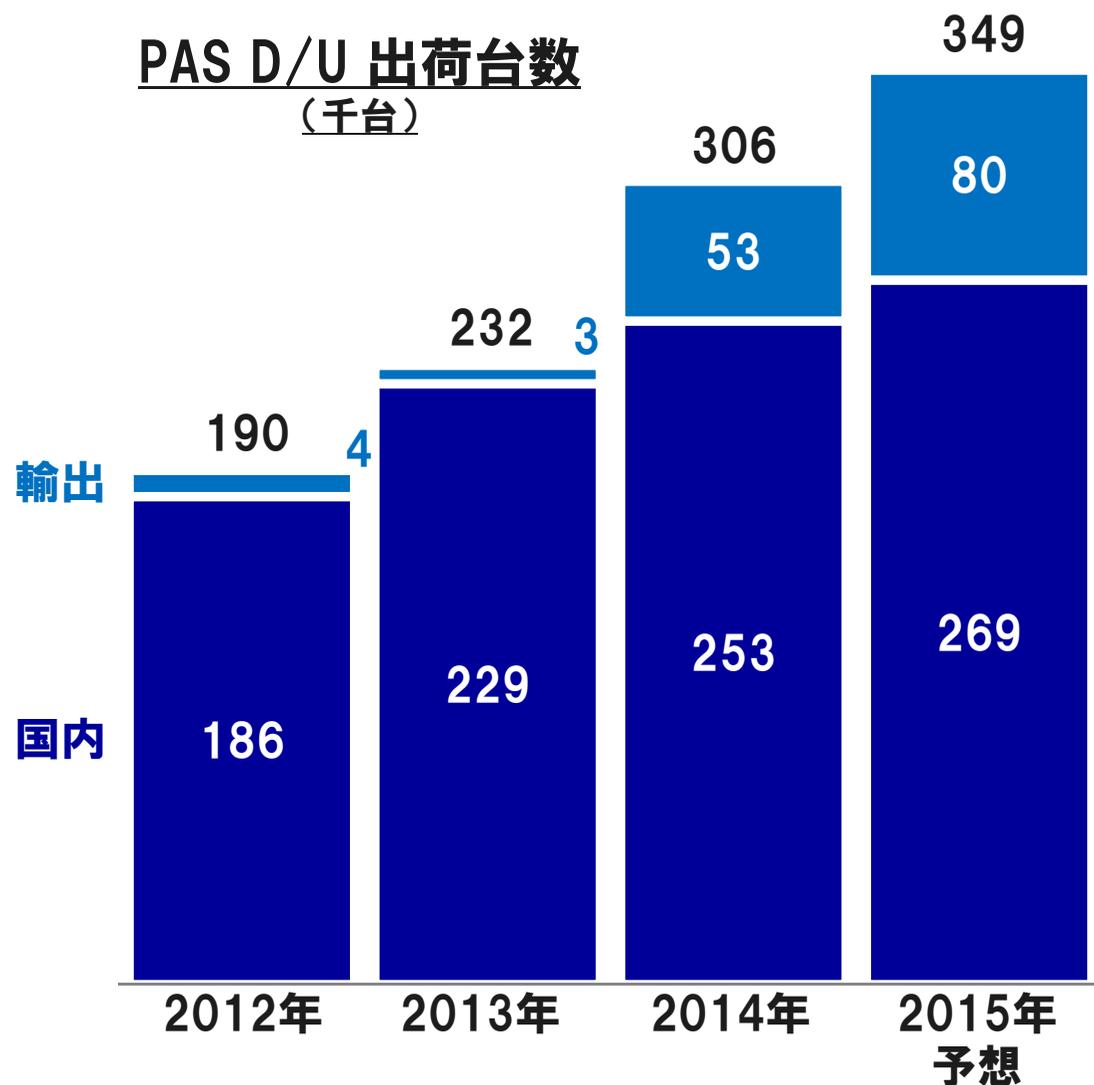
Z:LEX
高速・汎用性能を両立

- 2014年：新技術投入により国内販売増加(110%)、欧州輸出本格化。
- 2015年：更なる新技術・新商品投入により、スマートパワー事業拡大へ。

主な取り組み

面・お客様を広げる：

(PAS) 次世代ドライブユニット市場投入
(EV) 性能・価格を両立する新商品投入



『地球に優しい+楽しい走り』

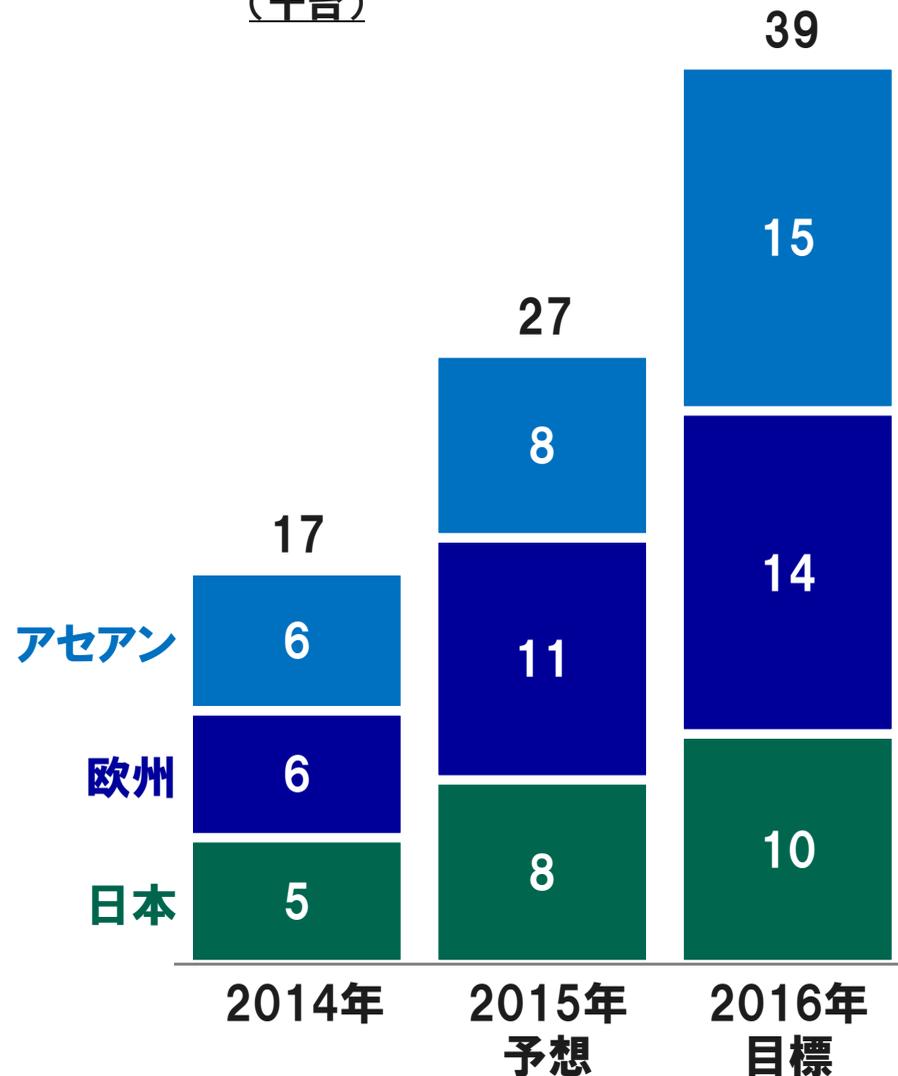


E-VINO

「第3の移動体 *MMW*」市場投入

- 2014年：市場投入開始、先進国では販売計画達成(121%)。
- 2015年：新しいブランドイメージを創り、お客様を広げる。

出荷台数
(千台)



主な取り組み

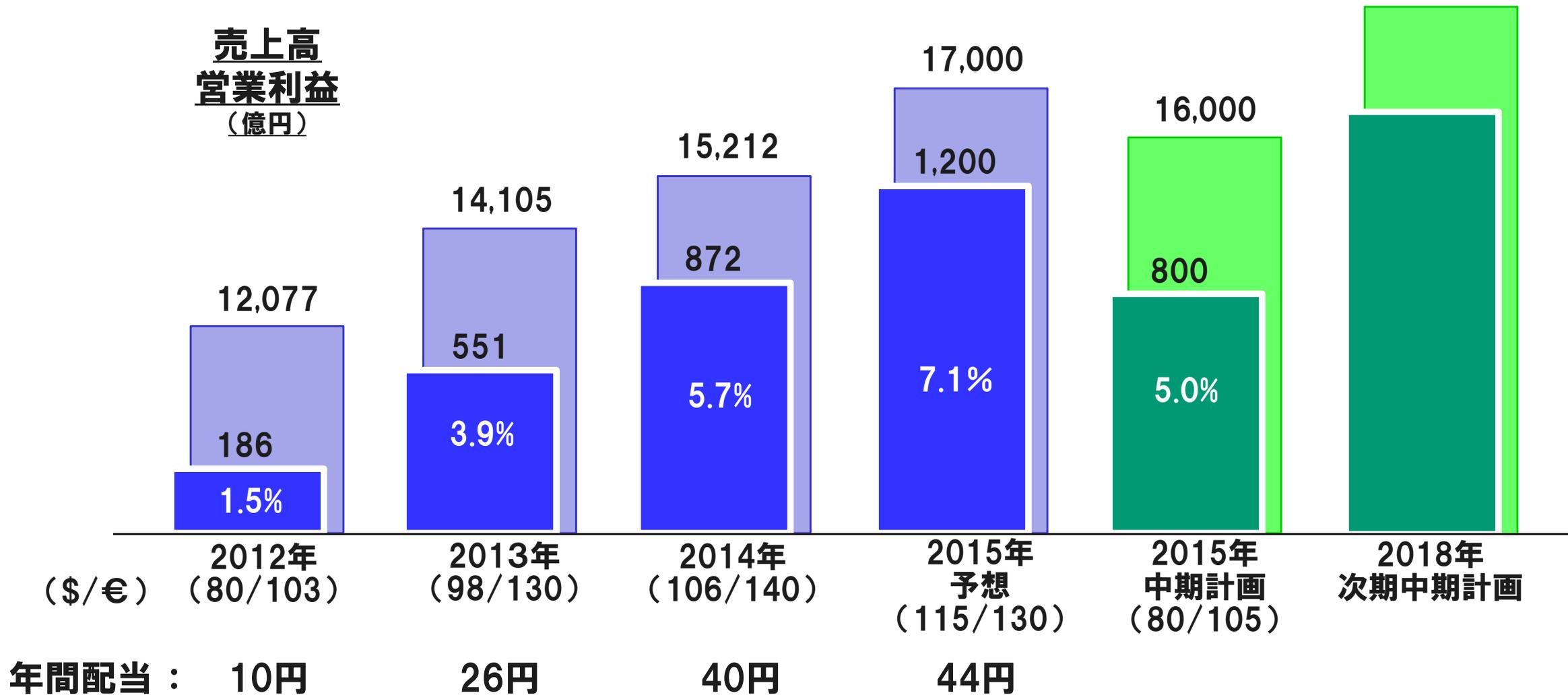
お客様を広げる：

(日本) 若者層の取り込み

(欧州) 非二輪車ユーザーの取り込み



- 現行中期計画の成果獲得、次期中期計画へのステップアップ：
「3つの成長戦略」「ヤマハらしいモノ創り」「基盤改革」に取り組む
- 年間配当：（2014年）40円実施、（2015年）44円予想

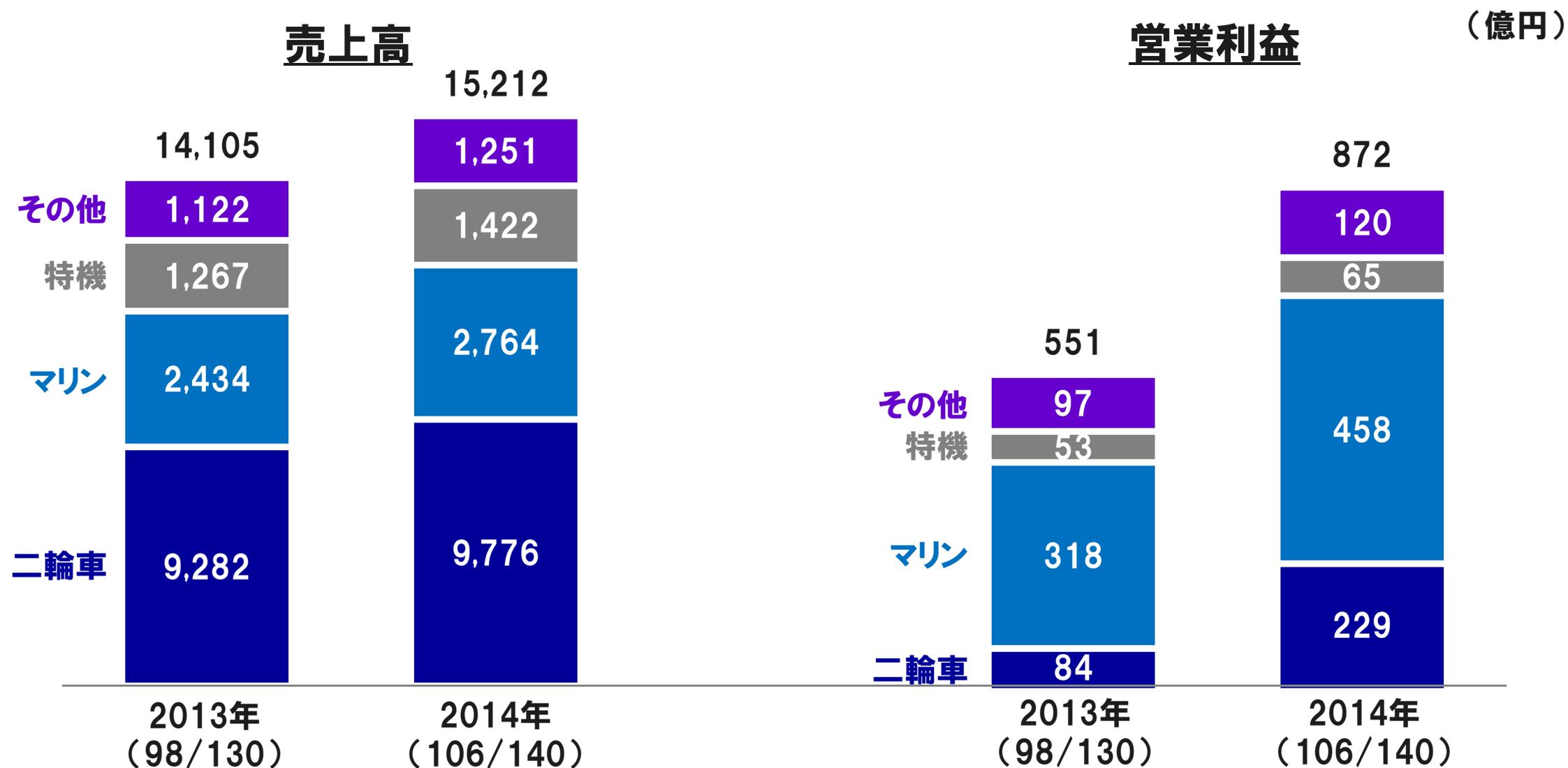


事業別説明

事業別 売上高・営業利益（2014年実績）

全事業部門において、増収・増益を達成する。

- 二輪車：増収・コストダウン・円安効果が、新興国通貨安影響を上回り増益。
- マリン：増収(大型エンジン化等)・コストダウン・円安効果による増益。



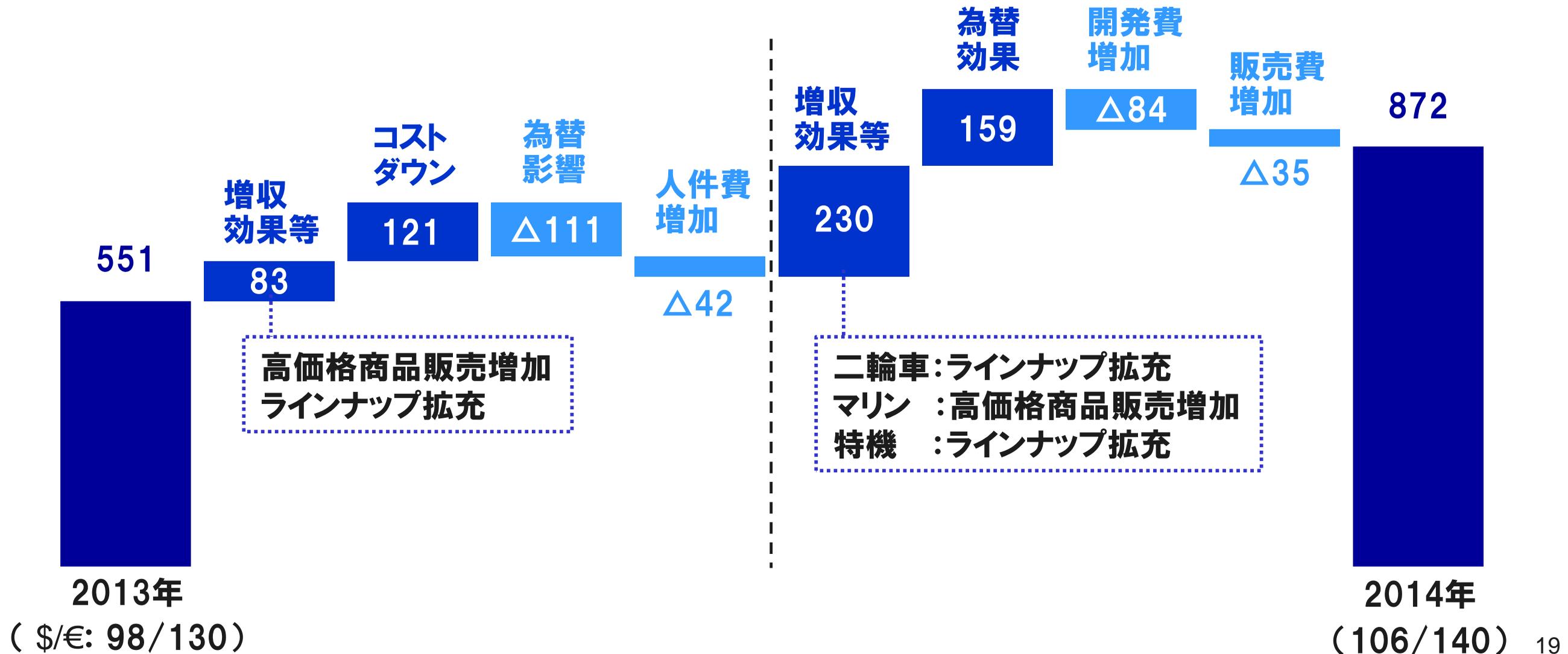
営業利益変動要因（2014年実績）

- 新興国二輪車：増収・コストダウン効果が、通貨安影響を上回り増益。
- 先進国事業等：増収・円安効果が、開発費等の増加を上回り増益。

新興国二輪車
+51億円

先進国事業等
+270億円

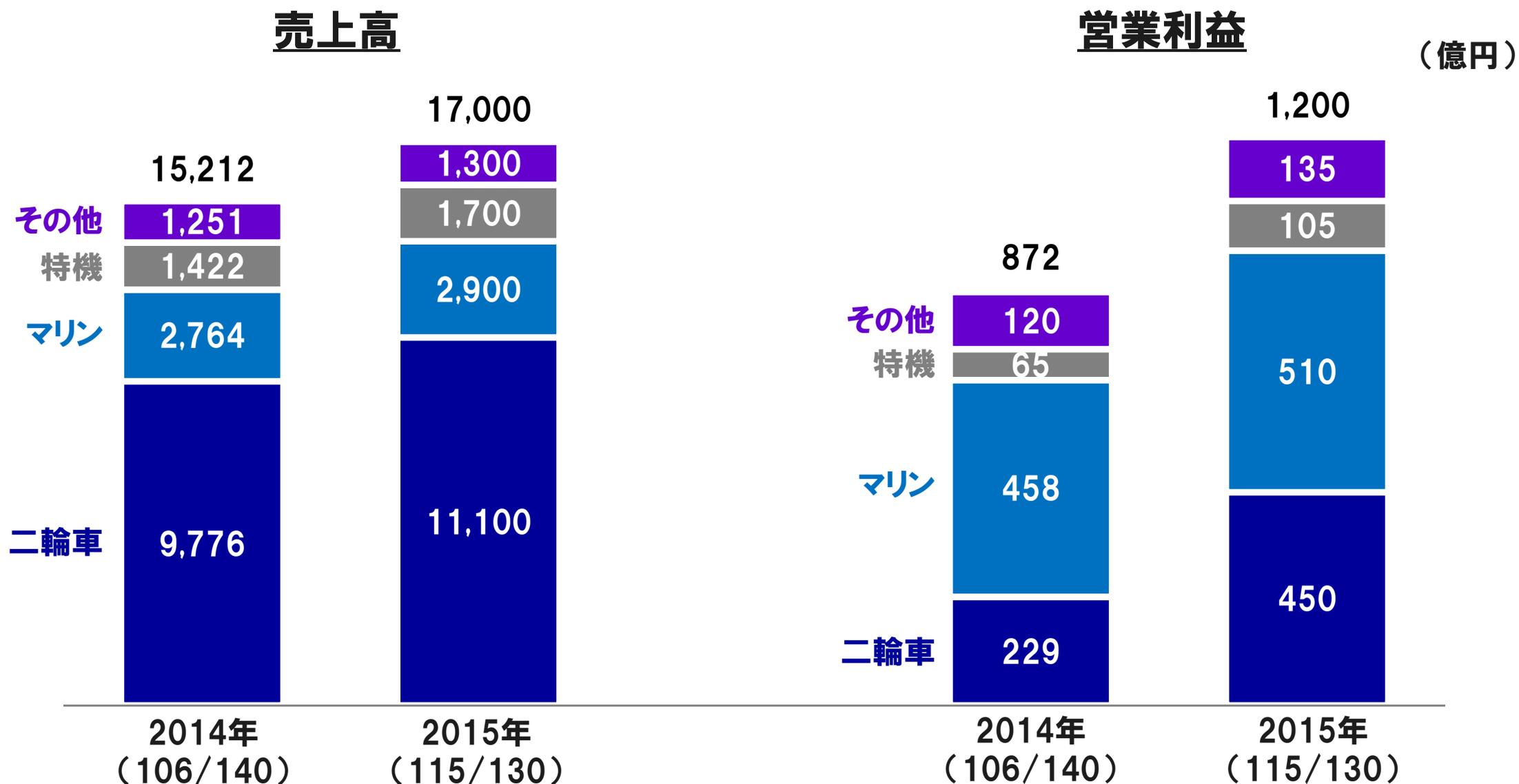
（億円）



事業別 売上高・営業利益（2015年予想）

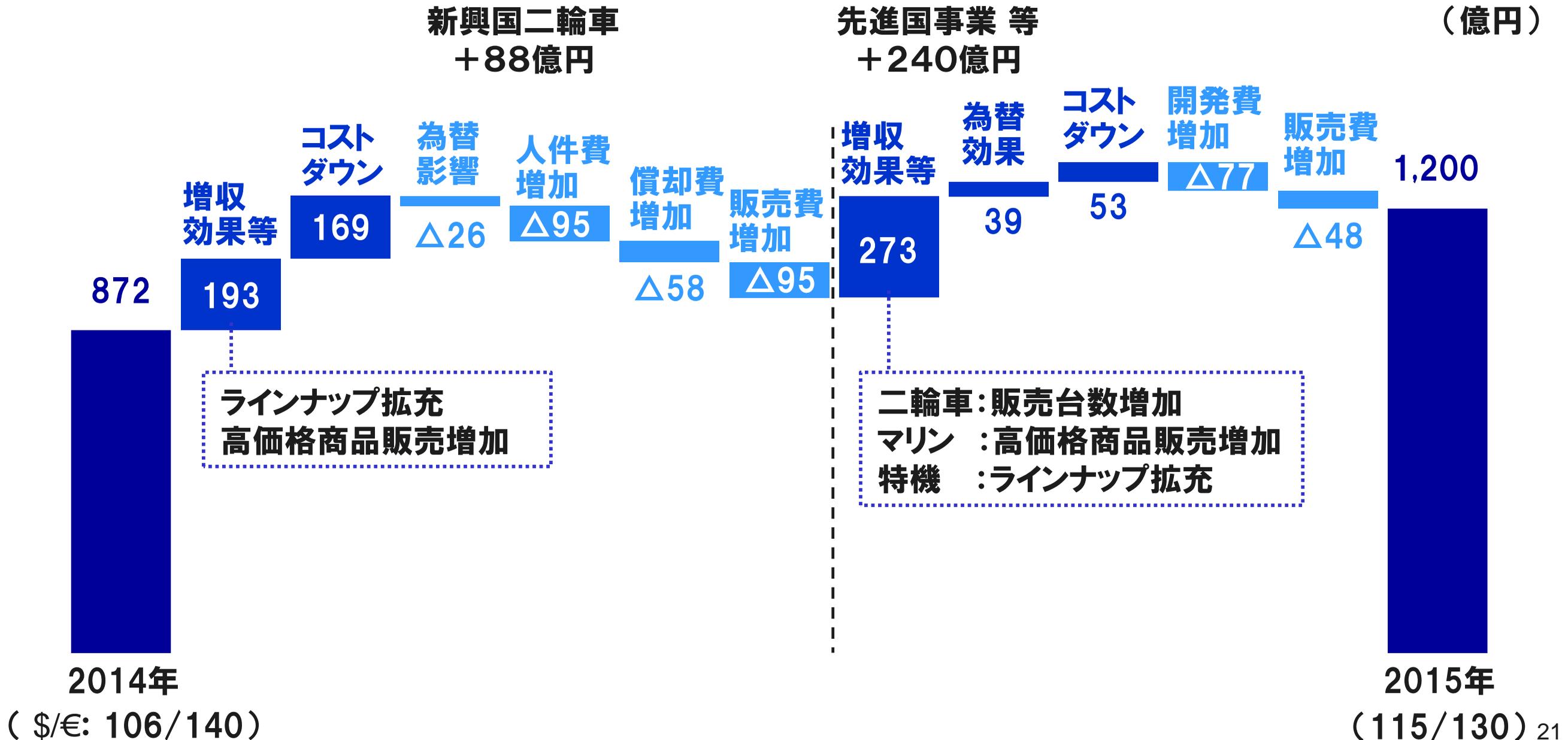
全事業部門において、増収・増益を続ける。

- 二輪車：先進国黒字化・新興国収益改善により、営業利益率5%水準へ。
- マリン：大型化・コストダウンにより、営業利益率20%水準へ。



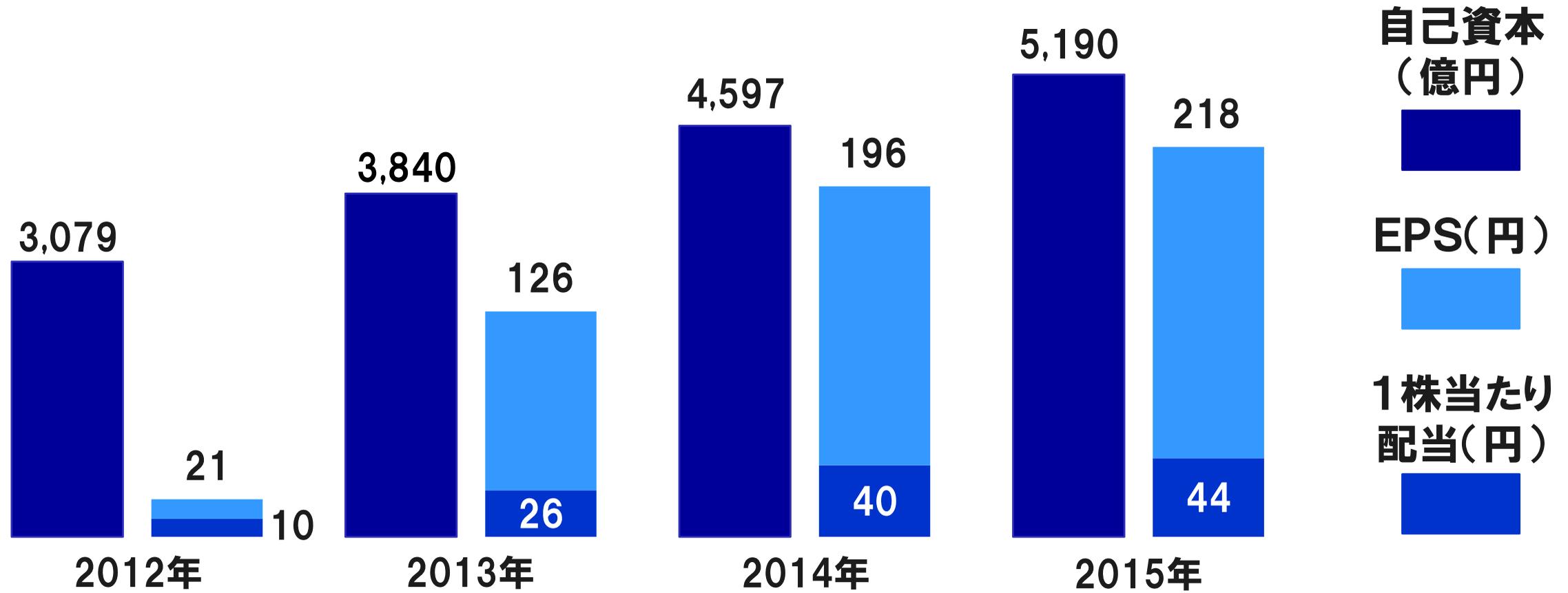
営業利益変動要因（2015年予想）

- 新興国二輪車：増収・コストダウン効果が、経費増加を上回り増益。
- 先進国事業等：各事業の増収効果が、開発費等の増加を上回り増益。



財務体質の改善

- 自己資本5,000億円超・EPS200円超の水準へ。
- 財務体質の健全性を高めながら、高水準のROEを維持する。



ROE 2.5% 12.7% 16.2% 15.5%

ROA 0.8% 4.2% 5.6% 5.8%

連結自己資本比率 32.0% 33.5% 35.1% 39.2%



YAMAHA

Revs Your Heart

主要商品別 総需要・当社出荷台数



台数単位:千台

	総需要 (当社推定)		
	13年実績	14年実績	15年予想
日本	460	450	457
北米	520	539	580
欧州	1,649	1,515	1,513
インドネシア	7,744	7,686	7,600
タイ	2,004	1,696	1,900
インド	14,343	15,996	17,000
ベトナム	2,793	2,711	2,613
台湾	668	666	650
中国	11,627	10,655	9,764
その他	4,365	4,395	4,627
アジア計	43,544	43,805	44,154
ブラジル	1,515	1,430	1,375
その他	7,989	7,931	8,317
その他計	9,504	9,360	9,692
二輪車計	55,678	55,669	56,396
船外機	781	808	719
ATV	523	436	443
電動アシスト自転車 (日本)	435	473	500

	ヤマハ発動機 出荷台数		
	13年実績	14年実績	15年予想
日本	109	123	125
北米	76	79	92
欧州	162	191	206
インドネシア	2,492	2,371	2,500
タイ	348	223	250
インド	462	567	718
ベトナム	766	643	670
台湾	189	210	236
中国	465	445	455
その他	355	359	435
アジア計	5,077	4,819	5,263
ブラジル	179	181	180
その他	411	406	414
その他計	590	587	594
二輪車計	6,014	5,799	6,281
船外機	313	329	313
ATV	55	53	58
PAS (完成車)	131	150	160

売上高 (億円)

	年間			4Q	
	13年実績	14年実績	15年予想	13年実績	14年実績
二輪車	9,282	9,776	11,100	2,326	2,536
マリン	2,434	2,764	2,900	581	672
特機	1,267	1,422	1,700	426	452
その他	1,122	1,251	1,300	293	305
合計	14,105	15,212	17,000	3,626	3,966

営業利益 (億円)

二輪車	84	229	450	22	52
マリン	318	458	510	72	81
特機	53	65	105	11	10
その他	97	120	135	25	19
合計	551	872	1,200	130	162

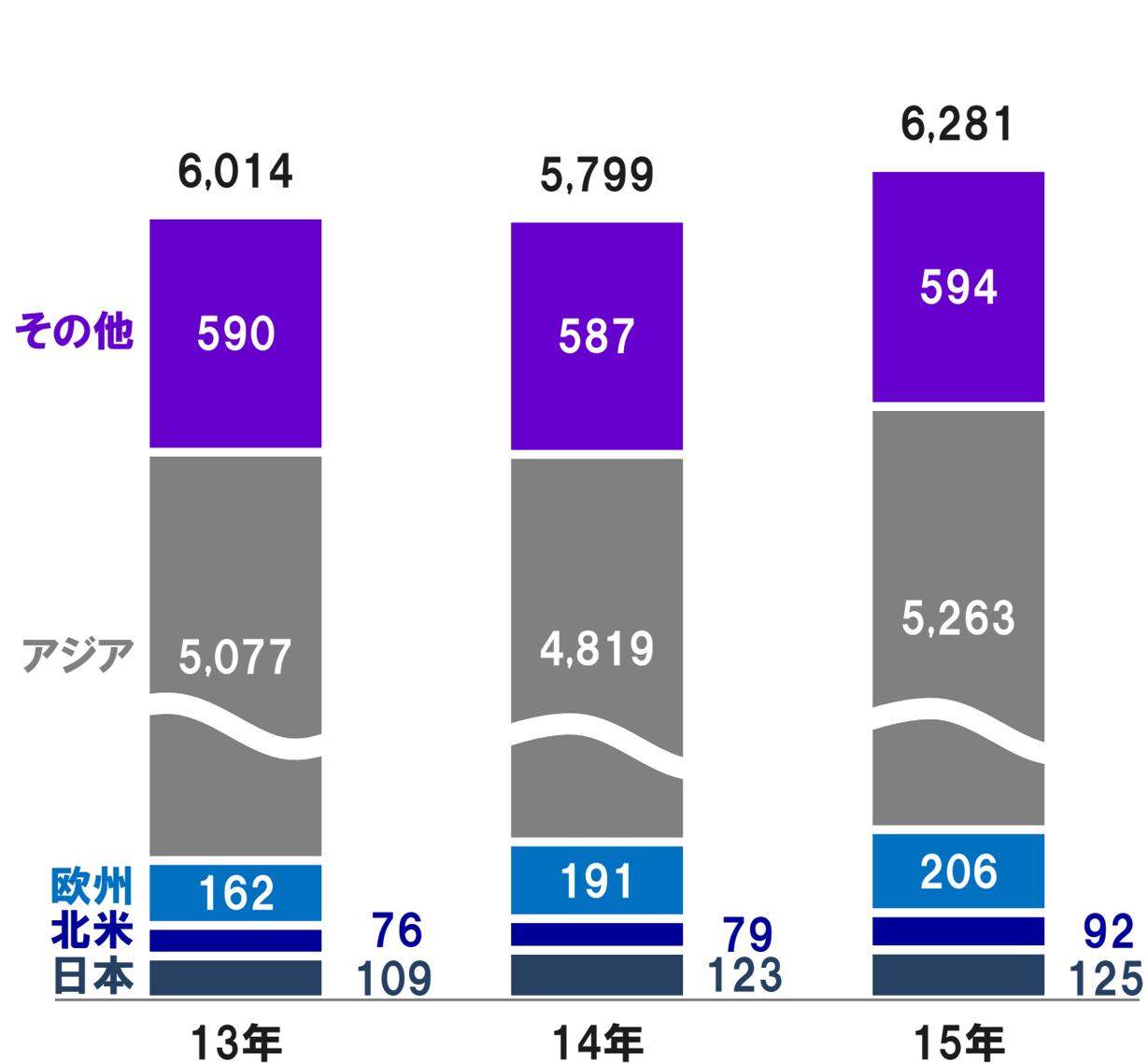
営業利益率 (%)

二輪車	0.9	2.3	4.1	1.0	2.1
マリン	13.1	16.6	17.6	12.4	12.0
特機	4.2	4.6	6.2	2.5	2.3
その他	8.7	9.6	10.4	8.4	6.1
合計	3.9	5.7	7.1	3.6	4.1

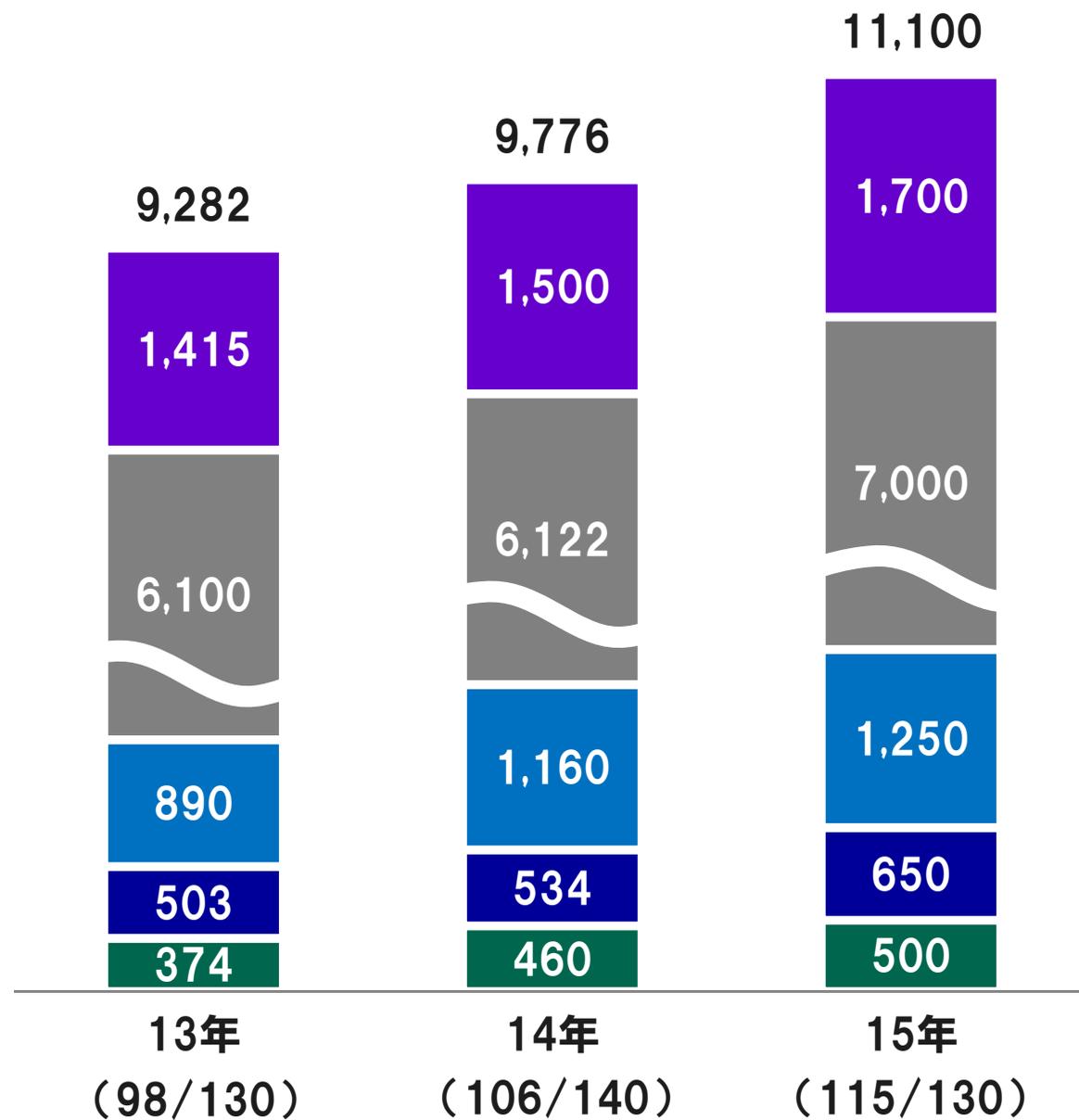
二輪車販売台数・売上高（年間）



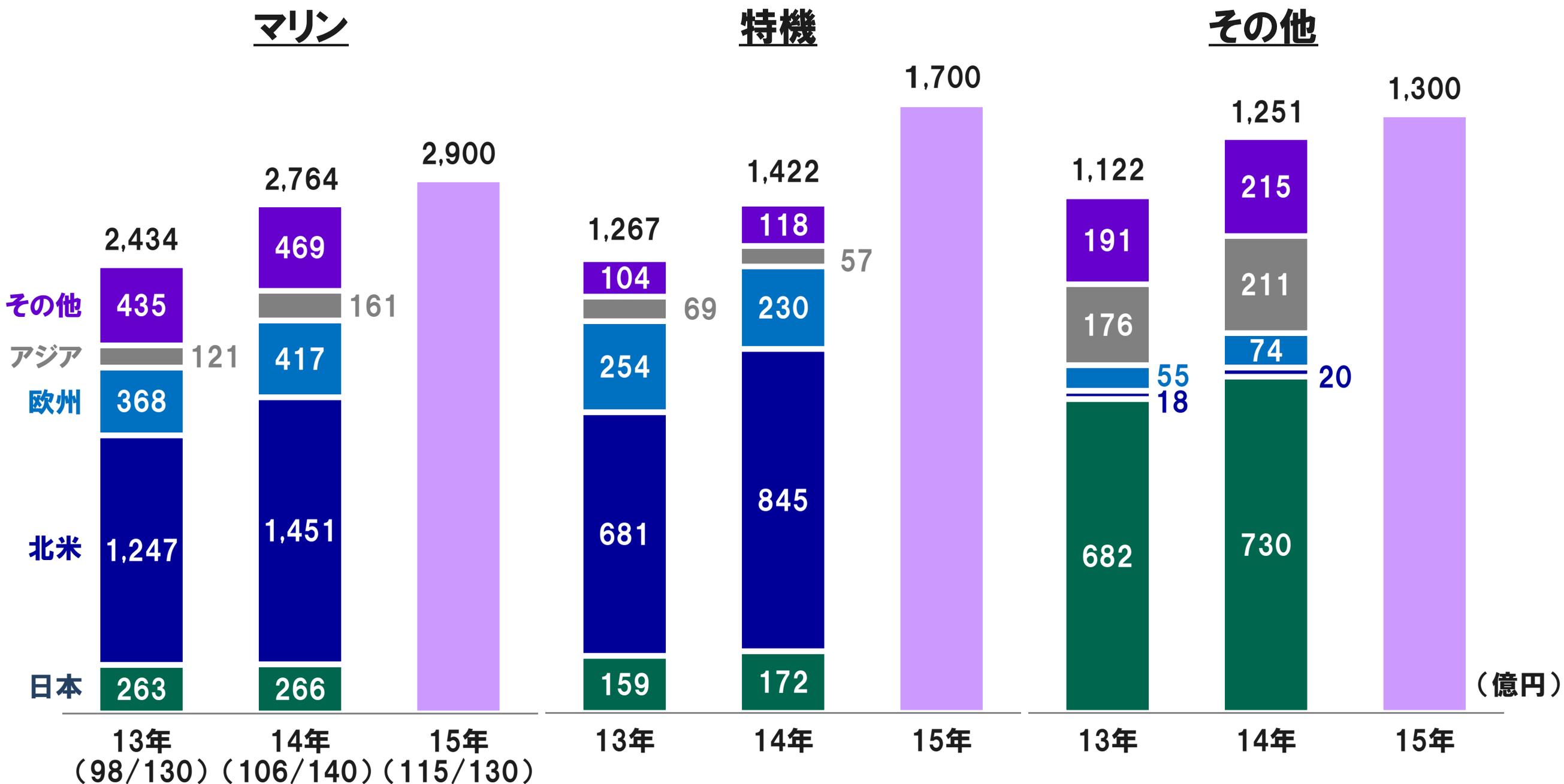
出荷台数 (千台)



売上高 (億円)



マリン・特機・その他 売上高（年間）



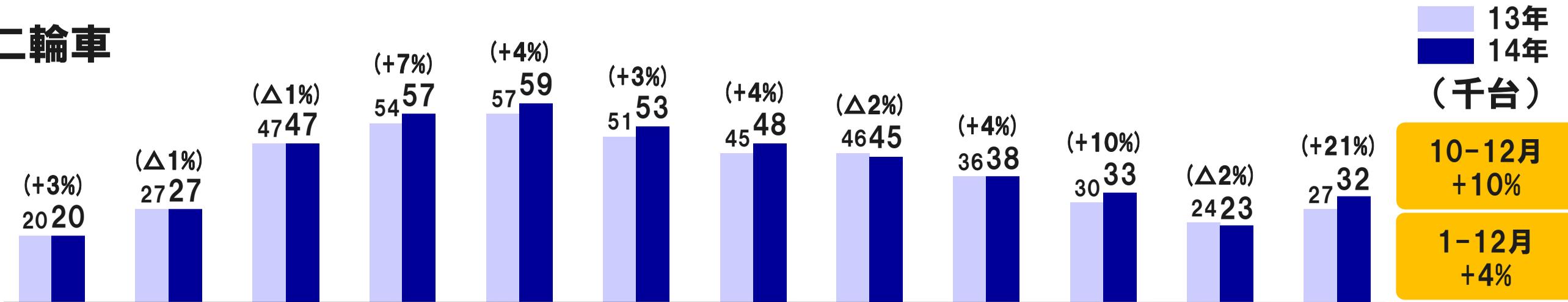
（億円）

※ その他：産業用機械・ロボット含む

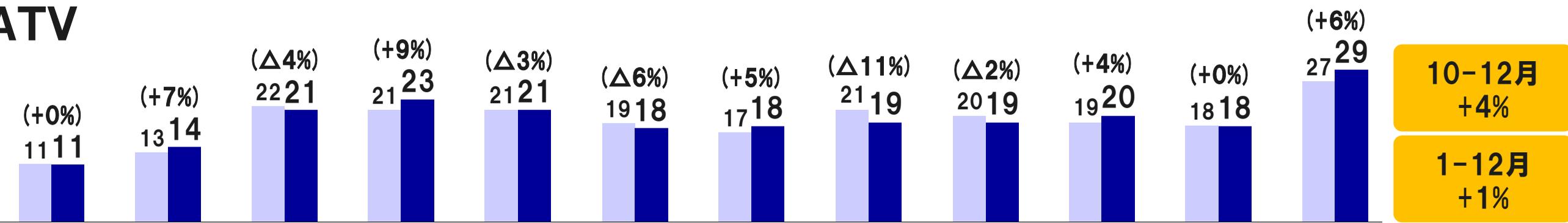
米国主要商品 月別 総需要推移



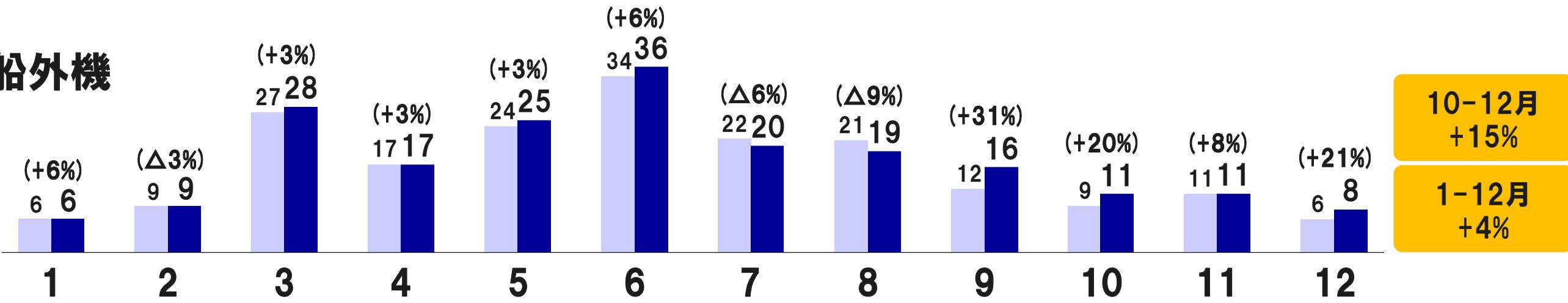
二輪車



ATV



船外機



出所) 二輪車・ATV: MIC、船外機: NMMA (登録台数)

小売台数 (千台)

	13年実績		14年実績		13年比	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
二輪車	11	62	16	71	+50%	+16%
ATV	7	31	7	28	△8%	△10%
ROV	2	6	3	10	+40%	+76%
船外機	11	74	13	75	+19%	+2%

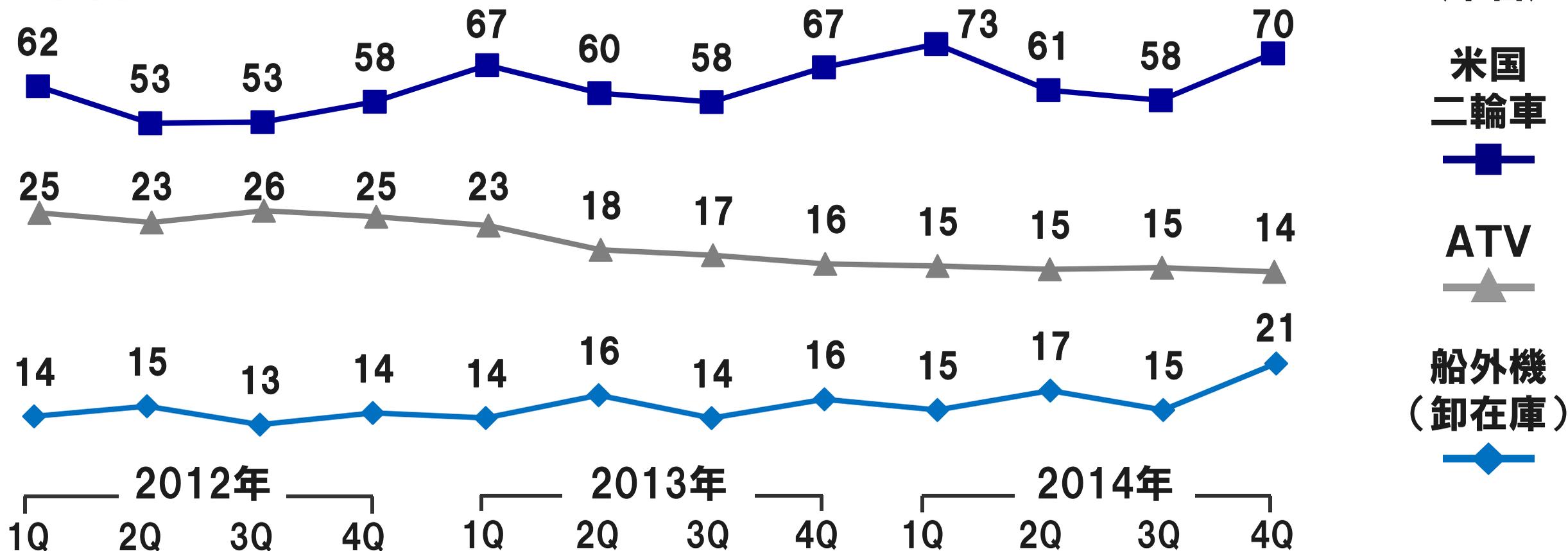
出荷台数 (千台)

	13年実績		14年実績		13年比	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
二輪車	20	67	21	67	+2%	△1%
ATV	6	26	6	25	+5%	△4%
ROV	3	7	3	11	0%	+67%
船外機	16	77	16	82	0%	+7%

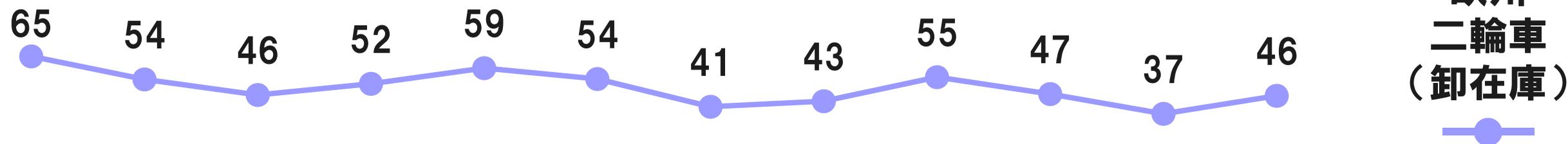
米国・欧州主要商品 在庫推移



米国主要商品



欧州二輪車



為替影響（対前年）

(億円)	14年 実績(年間)				15年予想(年間)			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	124	39	△12	151	123	△59	△16	48
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△111	△111	0	0	△59	△59
粗利益の換算影響（海外子会社）	38	25	14	77	46	△28	62	81
販管費の換算影響（海外子会社）	△33	△22	△14	△69	△32	23	△47	△56
営業利益への為替影響	128	41	△122	48	137	△64	△60	13

為替感応度

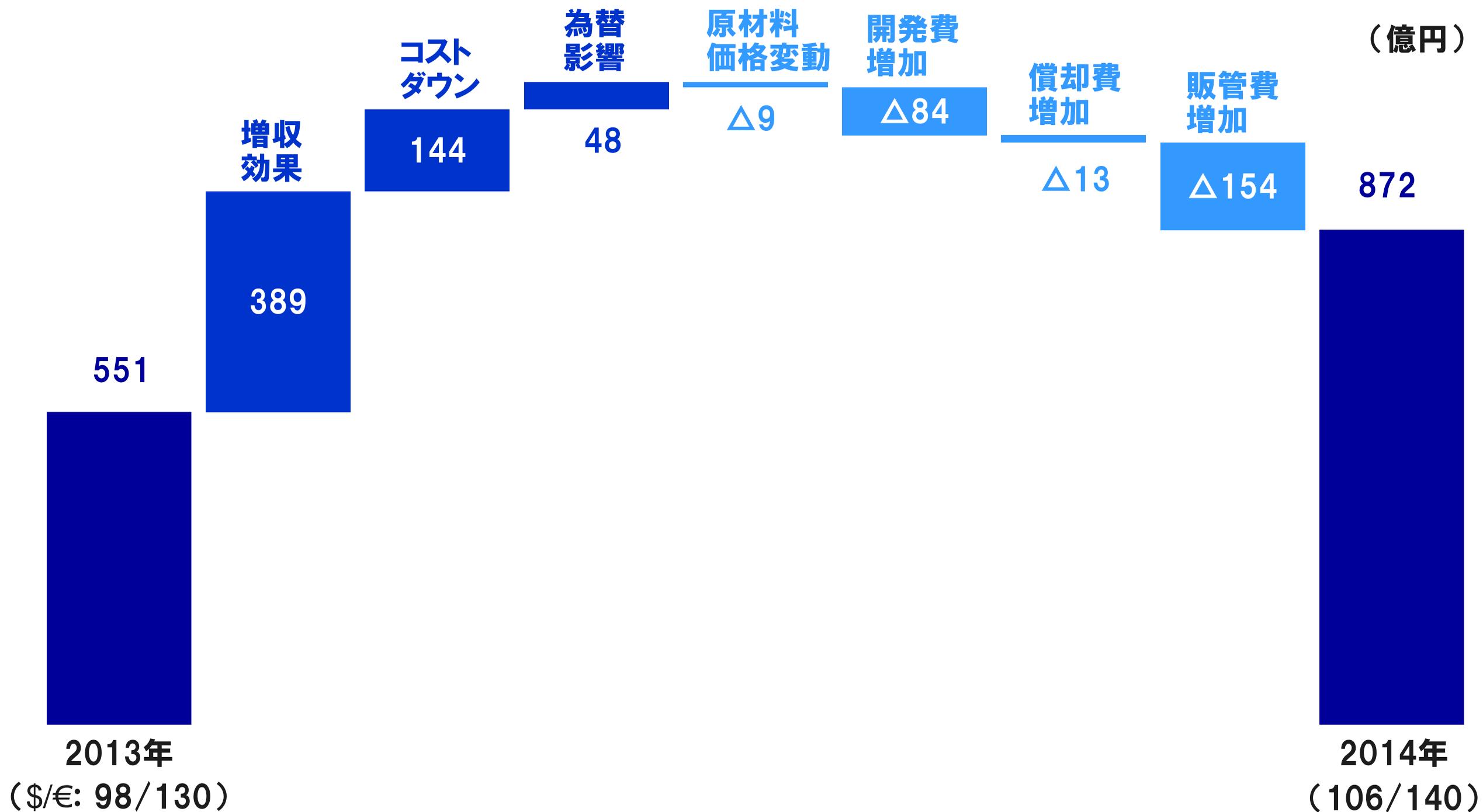
1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$ 15億円
EURO 4億円

US\$ 14億円
EURO 6億円

営業利益変動要因（2014年実績）

（億円）



営業利益変動要因（2015年予想）

（億円）

